

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01543美幌町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01543美幌町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	コロナ終息後の現在においても、子どもたちの体験機会は以前に比べて戻っていない状況です。そのため、子どもたちが養う必要のある社会性や協調性を培う貴重な場が失われており、必要な体験が不足しています。そのため地域と連携しながら、体験機会の復活と子どもたちが多様な学びや交流を通じて成長できる環境の整備が急務です。	土曜日教育推進員との連携により、主として土曜日に開催する子どもたちの体験活動の機会を創出する。 ・子どもちよつと体験教室：子どもたちの職業観や社会性 ・チャレンジクッキング：自主性や協調性、食育 ・子どもチャレンジクラブ：自然体験や宿泊体験を通じて、協調性や社会性を育む。	・通学合宿事業 3泊4日間宿泊を共にし、基本的な生活習慣を体験するとともに、地域の大人たちとの交流から協調性と多様性を育む ・子どもちよつと体験教室「公共交通機関利用事業」 社会性を育むことを目的に列車を活用した事業を展開 ・子どもチャレンジクラブ 通年で開催し、関係性を育みながら自然体験を主とした体験機会として創出	左記に記載した事業実施を通して、子どもたちには同年代及び異年齢と交流する機会を得ます。そこで、他者の気持ちを理解し、協力する力を養い、実社会での生活に必要な生きる力を育みます。最終的には、社会の一員としての自覚を持ち、主体的に行動できる子どもたちを育成することを目指します。	・具体的な展開事業数の増加 ・子どもたちと事業を通して関わりをもった人数	40	人	100	117	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた 事業に関しては、新たに自然体験・野外体験の要素を加えた事業を展開することができ、地域町民とのつながりや豊かな自然環境を生かして、協力する力を育むことができたと考えている。 多様な事業を展開していると考えておりますが、参加者の固定化が見られます。内容を随時見直すことも検討するとともに、開催場所や開催時間、または初めての参加者を優先する等、工夫を行っていくことが必要と考えられます。	美幌町ホームページ内 https://www.town.bihoro.hokkaido.jp 下記URLへ掲載